学校番号	４０５

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	ペン字ワークブック（日本書法研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材による表現の違いや、さまざまな美しさのあることを学びましょう。
・漢字の楷書や行書を重点的に様々な書体を体験し、自分らしい表現で文字を書くことが出来るようになることを目指します。
・仮名や漢字仮名交じりの書を学び、自分の言葉（気持ち）を自分らしい文字で表現出来ることを目指します。
・身近に飾ったり、使ったり出来る作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけ表している。	日常生活の書の効用や、文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ファイル レポート ワークシート	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	書写から書道へ	・書写の確認と芸術科書道 ・用具用材 ・姿勢、執筆法 ・氏名を楷書と行書で書く ・色々な線や形による表現の広がり	○			○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している。 d:多様な線質による表現の違いを感じ取っている。	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート
1	漢字の書を学ぶ　楷書	・楷書の用筆法、結構法 ・楷書の成立と唐の四大家 ・楷書の比較 ・臨書・鑑賞 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 ・半切ニ分の一作品の制作 ・団扇作品の制作	○	○	○	○	a:各古典の臨書・鑑賞を通して楷書の美とその表現方法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:楷書の美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 c:楷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ、表現している。 d:書の伝統と文化について幅広く理解し、さまざまな書風の楷書の美やよさを感じ取っている。	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート
1	漢字の書(硬筆)	・楷書と行書 (夏季休業中の課題としても扱う)		○		○	a:国語科書写の基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:国語科書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート

2	行書	・行書の特徴 ・臨書・鑑賞 　蘭亭序 　風信帖 ・半切臨書作品の制作	○	○	○	○	a:古典の臨書・鑑賞を通して行書の美とその表現技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:古典の臨書・鑑賞を通して行書の美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 c:行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ、表現している。 d:行書の美やよさを感じ取っている。中国及び日本の行書の文字と書の伝統と文化について幅広く理解している。	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート
2	草書・隷書・篆書	・草書の臨書・鑑賞 　真草千字文 ・隷書の臨書・鑑賞 　曹全碑 ・篆書の臨書・鑑賞 　泰山刻石 ・カレンダー作品の制作 　四字熟語の創作	○	○	○	○	a:様々な書体の美と表現技法に関心をもち、意欲的、主体的に漢字の書の美を味わおうとしている。 b:自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を生かし、表現を構想し工夫している。 c:創造的な表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの技能を身に付け、表現している。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じ取っている。	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート

3	仮名	・仮名の成立 ・仮名の美 　単体 　連綿 　変体仮名 　散らし書き ・臨書・鑑賞 　蓬莱切 　高野切第三種 ・仮名の創作 　料紙に書く	○	○	○	○	a:仮名の成立に関心をもち、意欲的、主体的に理解しようとし、仮名の美を味わおうとしている。 b:単体・連綿や変体仮名、散らし書きなど日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。また、自己の表現のねらいを達成するために、古筆のもつ伝統的な美を生かし、表現を構想し工夫している。 c:仮名の基礎・基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な表現方法を身につけ、表現している。 d:様々な仮名のよさや美を感じ取り、日本の書の伝統と文化について幅広く理解している。	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート
3	漢字仮名交じりの書	・線質の調和 ・全体構成 ・古典を生かす ・創作	○	○			a:目的や用途に即した芸術的な表現について基礎的な事項を理解し、自ら表現活動を楽しんで行おうとしている。 b:自己の表現のねらいを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具・用材、線質、字形、全体の構成などについて工夫している。 c:芸術的な表現をするために、形式や表し方を理解し、目的や用途に即して表現する技能を身に付け、表現している。 d:様々な表現の違いと美を感じ取っている。	観察 提出作品 ファイル レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。